

## 「キッズ本格おしごと体験」報告

日時：令和5年5月3日（水）10時～17時  
会場：イオンモール扶桑 1階セントラルコート

「キッズ本格おしごと体験」は令和4年8月13日に同じ場所で開催しています。

昨年と同様にいくつかの職業体験ブースがあり、子供たちが好きなブースを選び職業体験をするイベントです。今年は土地家屋調査士の職業体験ブースの他に歯科衛生士、福祉のお仕事、みやび園、屋外では消防署のブースがありました。ゴールデンウィークということもあり、家族連れのお客さんが多く開店と同時にキッズ本格おしごと体験を目指してくるお客さんもいました。土地家屋調査士の職業体験ブースは、さすがに一番人気とはいかなかったですが、153名の子供たちに体験してもらいました。

土地家屋調査士の職業体験ブースでは、トータルステーション、境界標、絵本「地面のボタンのなぞ」などを展示しました。今年は広報部で作製したバックボードを設置したことで子供たちにも良い印象を与えられたと思います。

職業体験としては、子供たちにトータルステーションを覗いてもらい、器械で測った距離とコンベックスの距離を比較してもらいました。

境界標については、実物を見てもらい実際には地上に見えている部分は、少しだけであることを知って驚いている子供や親御さんがいました。なかには、境界標の種類の使い分けを質問する親御さんもあり、自宅の境界標はこの種類であると覚えている方もいました。

また、トータルステーションに登下校中に見たことがあると言ってくれた子供たちや道路でよく見かけるけど、一度覗いてみたかったと言ってくれた親御さんもいました。

私は入口で案内係をしていましたが、年配の女性に声を掛けられ相続登記の時に何も考えずに土地を共有で相続してしまい、数年後に土地家屋調査士に分筆登記をしてもらい、初めて土地家屋調査士が何をする仕事か知ったとお話してくれました。土地家屋調査士は一般の方には分かりにくい職業だと改めて思いました。

今回の「キッズ本格おしごと体験」をとおして、土地家屋調査士の知名度・認知度をすぐに上げることはもちろんできませんが、積極的にイベント等に参加し土地家屋調査士を少しでも知ってもらうことが、職業の選択の一つに選ばれることに繋がると感じました。

まずは、私たちが家族、友人、依頼者、補助者等に土地家屋調査士が、やりがいがあり依頼者等に感謝されるような職業であることを伝えていけるといいなと思います。

（前社会事業部 部員 稲山 亮二）

